



めざましい活躍の剣中ソフトテニス部

一般質問 6人が登壇(第3回定例会) 2~7P

第3回臨時会 住宅新築・改修促進助成事業補助金を補正

第3回定例会 高齢者等の冬の生活支援給付費を補正 8~9P

第4回臨時会 **平成24年度決算を認定**

決算審査特別委員会報告 10~11P

常任委員会報告 産建文教・・・土木調査の結果、緊急性に十分配慮を！ 12P

親しまれる広報をめざして・・・町民インタビュー・地域おこし協力隊員紹介 13P

シリーズ「活躍するけんぶちっこ」・要望意見書など 14P

問 地域公共交通のあり方は

答 剣淵町にふさわしい交通システムにしていきたい



佐々木町長

地域公共交通会議は現在まで2回開催している。交通実態調査用のアンケートは9月12日現在の回収率は32.2%で、予測していた回収率はほぼ達成している。今後は調査内容を分析し次回の会議にかけたいと思う。それによりデマンド交通の実証実験を年内に実施し、町内3路線を中心に中型バスまたはタクシーを併用して実施するもので、電話により予約を受け確認をしながら運行していくものであり、町民の移動ニーズを把



高橋 毅 議員

佐々木町政2期目の中で協働の町づくりを中心に今年度も重点事項を4点あげているが、そのなかで快適な環境と安全安心なまちづくりの地域公共交通のあり方を今回全町にアンケートを実施し、それをどのように活用するのか。地域公共交通会議の進め方と年内にも実証実験が予定されているがどのような方法で実施するのか、また町民への周知方法はどのようにするのか。

佐々木町長



路線バス乗降

握し実際に利用した場合の運行体制や利用状況、検証データに基づき、剣淵町にふさわしい公共交通システムづくりを進めていく。

総務課長
タクシーを併用しながらのデマンド方式は、戸口から戸口へ、玄関先から目的地までといった利用者のニーズにこたえた内容で、最終的に地域公共交通会議にかけて11月を目途に実施したいと考えている。

地域安全組織の育成は

高橋議員

各自治会を中心に地域安全組織の育成を目指していたが異常気象や地震のとき自助、共助、公助の精神を持って身近なもの同志が助け合うことから始めなければならぬ。地域安全組織の育成方法についてはどうするのか。

佐々木町長

各自治会には平成24年から地域の安全を担ってもらっており安全部長会議を平成24年6月に、防災講演会を24年11月に開催し、災害時や非常時に対応する研修を行っている。今年も11月には防災講習会を予定している。近年のゲリラ豪雨や竜巻、突風など全く予測不能な災害が多く発生しており、各地域での災害発生を教訓に小さなリスクにも油断をせず注視して防災に努めていきたいと思う。

問 住宅新築・改修促進助成事業を継続し中古住宅購入も
助成対象にしてはどうか

答 商品券との併用で継続の方向で検討したい



高橋一博議員

平成23年度から平成26年3月までの3年間の時限の中で実施している住宅新築・改修促進助成事業は需要が非常に多く定住促進の上から是非継続し、内容の見直しや新たに中古住宅購入にも助成をできないか。

佐々木町長

個人の財産にかかる助成は適切でないと思うが、関連業種の事業促進に貢献している。継続は重要だと思っており見直しについては商店街の活性化に向けて助成の一部を商品券で助成したい。

中古住宅購入助成については改修事業を活用してほしい。

高橋議員

補助金の見直しについて一定の基準助成額を設けて町内業者施工の場合には増額助成してはどうか。

佐々木町長

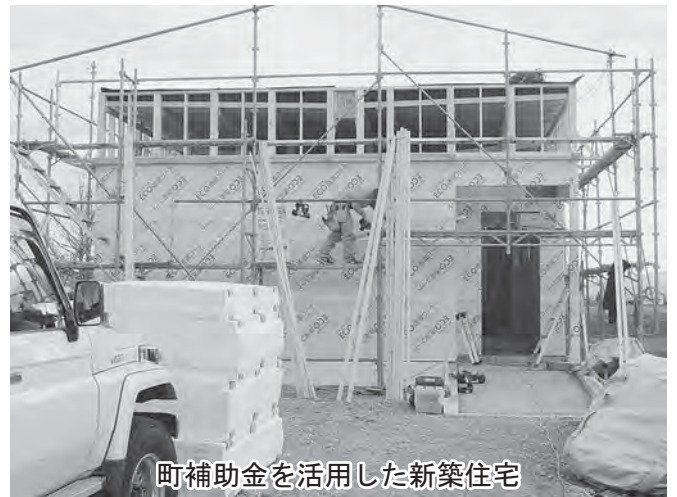
十分に検討したい。

高橋議員

中古住宅購入助成はリフォーム改修事業と別に、取得に対しても検討すべきと思うがどうか。

佐々木町長

検討するが経済効果上がるものではなく町費だけが負担になる。



町補助金を活用した新築住宅

**医療費無料化を中学生まで
拡大すべきでは**

高橋議員

平成25年度より本町も小学生で通院、入院の医療費の無料化を実施したところだが、経済状況が依然として厳しいなかにより保護者の経済的負担を軽減するためにも医療費の無料化を中学生まで拡大すべきと思うが町長の考えは。

佐々木町長

先ず段階的に中学生の入院に対して助成を検討したい。

高橋議員

上川管内の多くの町村は中学生までの医療費の無料化を実施しており、また本町の中学生の受診は圧倒的に通院が多く無料化に取り組むのは入院ではなくて通院が先ではないかと思うがどうか。

佐々木町長

中学生の入院が非常に少なく入院を対象にしても効果が少ないと思うが問題は歯医者を受診に対する負担増が予想されており、他の町村の事例を調査していい方向になるよう前向きに検討したい。

高橋議員

本年度からの小学生医療費無料化の中で所得制限をした助成になっっていると思うがどうか。

住民課長

所得制限はある。

高橋議員

ほとんどの町村は所得制限をしていない。この点についても再度検討が必要ではないか。

佐々木町長

理解したのでその点も含めて検討したい。

問 後継者・担い手支援、助成はどうなっているのか

答 可能な支援については予算化していきたい



大西義光 議員

町長の施政方針、第5期総合計画のなかでも農業経営の大きな課題は後継者・担い手対策だとしている。新規就農等、担い手の新たな経営や活動の支援など「担い手対策推進協議会」で検討していると思うが、現在までの後継者・担い手支援、助成などどのようになっているのか。

佐々木町長

平成23年に剣淵町担い手対策推進協議会を設立し検討したなかで、平成24年度から対応が可能な支援については予算化し、昨年設置した農業担い手支援センターが中心となり実施している事業で、新規就農者奨励金については24年度は独身者4名、25年度は既婚者1名に奨励金を給付している。この奨励金は単に就農したから支給するものではなく、自分の目標を持ったなかで農業に携わり剣淵の農業の中心になってもらいたいと思っている。

後継者の配偶者対策は24年度にモデル事業として実施し、JAや商工会の支援を得て農業後継者ばかりではなく、商工業後継者の対策としても実施している。先月は

札幌、旭川などの女性13名が本町の農商工業後継者13名と交流をしており、これをきっかけに後継者のパートナーとなってくれることを願っている。

農業後継者による軽トラマルシェや加工研究会等への支援も行っている。就農者については把握しているだけでも5年間に15名が就農している。特に最近は一ターンの多くなっており、この3年間では8割が一ターンの。

大西議員

今年は2名くらいですが毎年何名かづつ増えていることは喜ばしいことであり、今後も後継者に対して強力な支援が必要と考えるかどうか。

佐々木町長

担い手対策協議会と担い手支援



都市女性と農商工業後継者との交流

センターは農業の魅力を伝えながら担い手の確保と育成などに取り組んでおり、新規就農者は勿論のこと現在後継者として頑張っている農業者への支援をしていきたい。どのような支援がどこまでできるのかをよく検討したなかで26年度予算に反映していくよう考えている。

問 一般質問や所管事務調査に対し、その後どう対応したのか

答 その後の結果を再確認し、明確にしたい



生出孝男 議員

一般質問や所管調査報告事項についてはそれぞれその後、どう対応したのか。

はじめに、南桜町ペンケペオツペ川の床下げ、流木の除去は。

佐々木町長

旭川建設管理部士別出張所に状況を説明し、現地確認した上で、今年3月に和寒境和泉橋の下流約380㍎の区間で流れを阻害している流木の処理を実施し、流れが改善されたものと認識している。

生出議員

次に旭町、音無川の鉄橋橋脚の改善と床下げは。

佐々木町長

旭川建設管理部からはJR側に負担を求めることも本格改修の実施も難しい。本年度から町施工により鉄橋から上流へ向かって2、3年かけて床さらいを行う予定。

生出議員

次にレークサイド温泉の排湯熱をヒートポンプで活用する調査・研究は。

佐々木町長

視察研修の予算を計上しているが実施していない。ヒートポンプのメーカーに確認したところ初期

投資に1億円、ランニングコストは、燃料費が今の半分程度の節約となる。上川振興局とも協議しどのようなシステムが最適か調査研究を進める。



床下げが望まれる音無川

生出議員

次に所管調査報告では、ごみ処分場延命を図るために、ひらなみ荘などを含めた小規模事業所の紙おむつや一般廃棄物の減量化を進めるため、小型焼却炉を設置できるように補助対象も含めて検討すべきとした。また、幌加内町が設置している規模の焼却炉を参考に焼却の中間処理をすべきとしたが。

佐々木町長

紙おむつの処理は委託料と運搬料を年間約115万円かけ、愛別町他3町塵芥処理組合に26年4月から受け入れの内諾を得ている。

小規模焼却炉を処分場へ設置する場合の建設費は約2億5000万円程度、年間維持管理費も1250万円かかり、初期投資費用と維持管理経費等が高額になるため処理を委託することとした。一般廃棄物は処分場が平成34年3月まで収容が可能であり、満杯になれば場所を移動して埋立て処分を行う。これまでの事項については、結果を明確にしたい。

在宅の高齢者の介護や生活支援を24時間体制で対応すべき

生出議員

国の社会保障制度改革で町は高齢者の介護や生活支援を24時間体制で対応できる体制を確立することが必要になるのではないか。

佐々木町長

要介護1、2の軽度者の生活の受け皿として生活支援や見守りなどを行う高齢者住宅の整備を急ぐ方針。高齢者福寿寮の増築、増床も一つの施策と考える。

問 今活躍している若い後継者たちを表彰しては

答 若者に頑張ってもらえるように方法を考えている



武山啓一 議員

町の条例では町勢の発展や産業文化の振興、社会福祉の増進に寄与した者に対しての表彰になっている。いまが旬で活躍をして町の発展や活性化のために頑張っている青年後継者や各種団体の表彰は条例上対象とならない状況であり、今後も継続して活躍していただくためにも現在の表彰制度を見直し



軽トラマルシェの出店風景

て、新たな条例を考えては。

佐々木町長

現在の表彰条例を私も見て感じており、このなかに当てはめていくことは違和感もあり、問題は今後内部で詰めて規則なり規程を作っていく方が分かりやすいので検討をしていきたい。

武山議員

特に若者の表彰は今後の活躍に対して励みになるがそのことが負担にならないようにしていただき、いま頑張っている人が5年後に表彰とならないようにスピーディーに対処できないか。

佐々木町長

剣淵町は全国的にも注目される町になりつつあるのでその意味からも若者に頑張ってもらい、また励みになるような表彰をしていくことが必要かと思っている。いま、軽トラマルシェなど非常に活躍しているので表彰や顕彰をして皆さんに認めてもらえる方法をこれからとっていききたいと思っている。

全国学力テストの結果と今後の取り組みは

武山議員

8月27日に発表された全国学力テストの結果、北海道は小学校45位、中学校38位となっており、これは全国平均を下回っているが当町の小中学校の結果と今後の対応対策について教育委員会の考え方は、

半田教育長



剣淵町については小中学校が1校ずつであり、全道あるいは管内での順位は知らされないことになっている。平均の正答率の結果は小学校は全道の結果と同じで、中学校は全国、全道の平均を大きく上回っている。今後とも義務教育9年間を見通し人間性を高め、生きる力を育てて教育全般にわたる方策を家庭地域と学校が連携して進めていくことが大切と考えている。

問 町長自ら先頭に立って企業誘致に取り組んでは

答 情報の収集に努め、要望等あれば積極的に対応したい



肥田照美議員

最近、全国的にリスク分散ということで自然災害の少ない北海道に事務所や工場の移転を検討している企業が増加傾向にあり、誘致に成功している町もある。定住促進を進めるためにも雇用の場の確保といった観点から、町長自ら先頭に立って企業誘致に取り組むべきと考えるがどうか。

佐々木町長

平成24年度に73社が企業移転、工場の新設を表明しているが、立地条件の良さから主に札幌周辺から苫小牧までに集中していると聞いており、剣淵にはこれといった情報はなく、輸送、人材、住宅等の問題があり企業誘致はやさしいことではないと考えている。今後情報の収集に努め打診、要望等があった場合には誘致に積極的に対応したいと考えている。

肥田議員

企業誘致は簡単なものではないが、成功させている事例では町長自らが企業を積極的に歩いて回っているのが現状であり、またやる気のある町村ではホームページ上に優遇制度を設けながら、北海道の政策と抱き合わせで紹介してい

る。難しいからということでは可能性をゼロと考えるのではなく、せめてホームページ上に企業誘致のページを新たに設けることから始めることが大事ではないか。

佐々木町長

長い目で見て、剣淵に適した企業誘致をできるだけ逃すことなく引つ張ってくる必要があると思っており、常に関心を持ちながら考えていきたい。

じゃがいもプロジェクト

について

肥田議員

今後じゃがいもの加工研究も含め、剣淵産のじゃがいもの美味しさをわかってもらうためには、じゃがいも料理の研究及び町内の飲食店でも提供してもらうといった工夫が必要ではないか。

佐々木町長

年度内にじゃがいも料理や食べ方のレシピ化と試食会を予定している。また飲食店での提供については積極的に協力してもらうよう商工会を通じて働きかけた

い。

肥田議員

交流人口が増えているなかで、剣淵産のじゃがいもの提供がなされていない。ポテトフライやいも団子といったテイクアウトがあっても良く、旬の時機を逃すことなくスピード感を持って広めるべきではないか。

佐々木町長

フライドポテトは8割が輸入だと聞いており、地元で企業化できる可能性があると思っています。今後積極的にPRして知恵を出しながら研究したい。



けんづち「じゃがじゃがデー」

当初予算が大幅に不足！！ 住宅新築・改修促進助成事業補助金を補正

H25年
第3回臨時会
8月8日

補正予算



剣淵ライオンズクラブから9月28日に寄贈された
交通安全広報車

○平成25年度の一般会計に1,268万円を追加しました。

主な内容は、住宅新築・改修促進助成事業補助金として750万円、剣淵ライオンズクラブから35周年の記念事業として寄贈される交通安全広報車にかかる経費として55万円、西原地区研修館前駐車場舗装工事86万円などです。

可決全員賛成

○平成25年度の簡易水道事業特別会計に西岡浄水場のポンプの故障修理費として115万円を追加しました。

可決全員賛成

高齢者等の冬の生活支援給付費に370万円を補正

H25年
第3回定例会
9月19・20日

条例改正

○下記3議案は、従来11月から3月に支給されている寒冷地手当を11月に一括して支給するよう改正するものです。

職員の給与に関する条例の一部改正

特別職の給与に関する条例の一部改正

教育委員会教育長の給与、勤務時間に関する条例の一部改正

可決全員賛成

補正予算

○平成25年度の一般会計に731万円を追加しました。

主な内容は、高齢者等の冬の生活支援給付費に370万円、子ども・子育て支援事業計画策定ニーズ調査業務委託料に120万円、さらに農地及び農業用施設小規模災害復旧事業補助金60万円などです。

質疑

(冬の生活支援事業関係)

高橋(一)議員：高齢者等の冬の生活支援事業に取り組む基準は。

健康福祉課長：現段階では明確な基準はないが、原油高が続くとすれば毎年実施も考えられる。

古山議員：商工会の商品券での支給だが、町外業者からの灯油購入に対しての配布は可能か。

健康福祉課長：この事業は灯油代金の支給ではなく冬の経費増に対する補てんであり、町内外の区別はない。

肥田議員：子どもの多い家庭にも対象を拡大できないか。

健康福祉課長：年間所得が150万円以下の世帯等に広げることが可能と思うが、境目が難しい。

生出議員：灯油の単価が一定の価格を超えたら、支給額を割り増ししての支給ができないか。

町長：即答ができないので、検討はするが難しいと思っている。

(子育て支援事業関係)

肥田議員：子育て支援事業計画策定に対し、町内のどのような方に策定協力員をお願いするのか。

住民課長：民生主任児童委員・保護者会・小学校PTA・小学校教諭・学識経験者・町づくり団体・絵本の里を創ろう会会長・教育委員会・健康福祉課など10名を予定している。



絵本の館でのわくわく放課後タイム

○平成25年度の後期高齢者医療特別会計に、前年度保険料確定に伴う還付金10万円を追加しました。 可決全員賛成

人 事

○教育委員会委員の任命

次の方の任命に議会の選任同意を求められましたので同意しました。
 剣淵町緑町25番2-2号
 山根 昌美氏（新任）

報 告

○平成24年度普通会計財政健全化判断比率及び公営企業会計資金不足比率の報告

普通会計は、実質赤字、連結実質赤字比率・将来負担比率は発生しておらず、実質公債費比率は基準25%に対し、8.7%です。簡易水道、下水道事業特別会計は資金不足比率は発生していません。

○平成25年度の国民健康保険事業特別会計に診療所特別会計への繰出金等として687万円を追加しました。 可決全員賛成

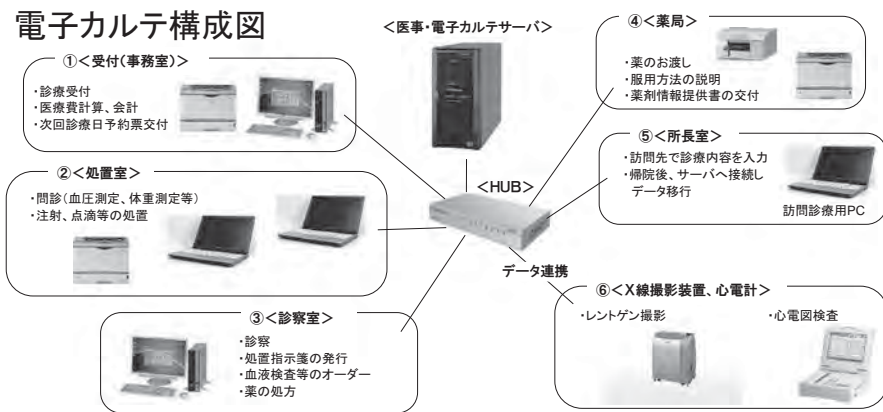
○平成25年度の国民健康保険町立診療所特別会計に1,108万円を追加しました。

内容は、電子カルテシステム導入に689万円、士別市立病院に委託する臨床検査業務として419万円です。 可決全員賛成

○平成25年度の介護保険事業特別会計に前年分の介護給付費の実績に基づき、国・道負担金及び一般会計繰出金にかかる精算返還金として1,533万円を追加しました。

可決全員賛成

電子カルテ構成図



平成24年度決算を認定

H25年
第4回臨時会
10月21~25日

決算認定

今後、地方交付税の減額や消費税値上げの影響から厳しい財政運営が懸念されるが、特に、地方交付税の計上にあたっては、近年の決算状況をかんがみ、十分せめの姿勢が伺えるような予算であって欲しいと願いながら賛成討論とする。

○平成24年度各会計は、決算審査特別委員会において慎重に審議し、その結果全員賛成で可決されました。(次頁に詳細記載)

補正予算

○平成25年度の一般会計に620万円を追加しました。

主な内容は、農業体質強化基盤整備促進事業設計管理業務の委託料600万円などです。 可決全員賛成

質疑

古山議員：農業体質強化基盤整備促進事業で、暗渠などの申込み状況と、その実施の可能性は。
 経済課長：申込みは31戸で75haの申込みがあり、クリアーできると考えている。

賛成討論

肥田議員：経常経費の削減に努め、事業の効率化を図るなどの努力により、各会計剰余金を合わせて2億4,296万円となり、適正な基金の積立てを行ったことは高く評価できる。また国保税や各種手数料の徴収は、担当課職員の努力により高い収納率を挙げており、そのことから敬意を表する。今後も、負担の公平性の観点から更なる徴収業務に励んでいただきたい。本年度は、担い手支援、プレミアム商品券事業や地域おこし協力隊事業などソフト事業に重点を置いた年であり、さらに映画「じんじん」の完成によって、町民が剣淵の素晴らしさを再確認できた年であり、そういった意味でも行政努力に敬意を表したい。

4,296万円を計上

その内9,500万円を
基金に積み立てる



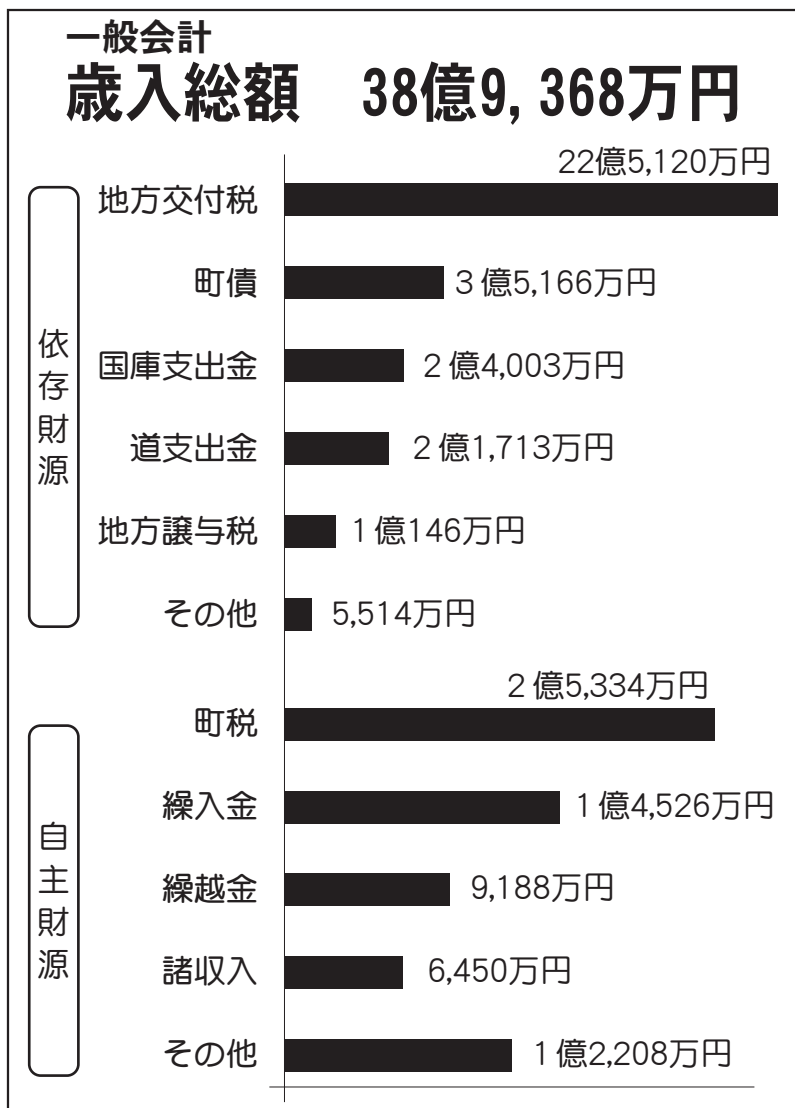
映画「じんじん」が完成



小学校に設置された太陽光発電施設



東中央団地3号棟が完成



平成24年度 6 特別会計決算報告

	歳入	歳出	差引残額	基金繰入額
国民健康保険事業特別会計	6億912万円	5億5,487万円	5,425万円	2,000万円
国民健康保険町立診療所特別会計	1億4,921万円	1億4,278万円	643万円	
後期高齢者医療特別会計	4,904万円	4,711万円	193万円	
介護保険事業特別会計	4億7,531万円	4億5,524万円	2,007万円	500万円
簡易水道事業特別会計	3億3,617万円	3億3,230万円	387万円	
下水道事業特別会計	1億2,678万円	1億2,521万円	157万円	



下田 秀樹
決算審査特別委員長

決算審査
特別委員長報告

剰余金 2 億

平成24年度決算審査特別委員会は、去る10月21日開催の第4回町議会臨時会において設置され、10月21日から23日の3日間付託された平成24年度剣淵町一般会計並びに6特別会計の歳入歳出決算について慎重に審議した結果、決算審査特別委員会委員全員の賛成をもって認定すべきものと決定いたしました。

平成24年度については、歳入総額で前年度1.44%増の56億3,932万7,765円、歳出総額1.54%増の53億9,636万3,831円で歳入歳出差引2億4,296万7,382円の剰余を計上し、この内一般会計で7,000万円を基金に積立てを行

うことができましたことは健全財政を維持する上で大変意義があり評価するものであります。一方、地方債の現在高は、一般会計と特別会計を合わせた年度末残高は47億8,376万1,596円であり、前年度末比で5,852万1,112円の減で事業抑制等によりやや減少傾向にありますが、財政運営の圧迫の大きな要因となっているので、今後も財政の健全化を基本に諸事業の見直し、経常経費の抑制に努め適正な行政運営を望むところであります。

平成24年度は、昭和37年1月1日に施行された町制施行から50周年の節目を迎えた年で記念

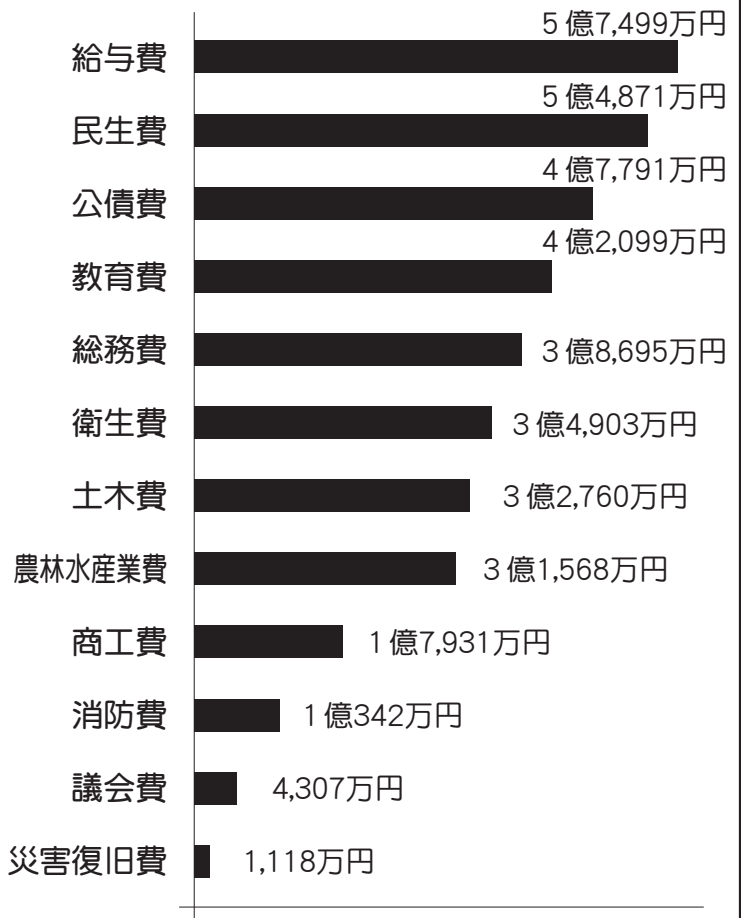
事業として講演会・札幌演奏会等が開催されました。

また、平成23年7月6日に締結したペルー共和国との姉妹都市提携を機に6名の訪問団がパルカマヨ区を公式訪問しました。このことは、ペルー共和国との親善に新たな1ページが示されたものとして今後の交流が期待される所です。

高齢化が進む中、町の将来を担う農・商工業の担い手対策として新規就農奨励金支給事業や担い手チャレンジ事業支援補助金の創設は担い手の確保と定着につながる施策として高く評価するものです。

絵本の里けんぶちをメイン口

一般会計
歳出総額 37億3,884万円



ケ地に絵本の力と親子の絆を描いた大地康雄さん主演の映画「じんじん」が撮影され、多くの町民が映画づくりに参加しました。映画製作のため町では支援補助金等により全面的に撮影に協力しました。

この映画は、絵本の里けんぶちの顔として今後、まちのPRや観光面で大きな役割を果たしてくれるものとして期待するところです。

継続事業として取り組まれている東中央団地公営住宅建設工事、桜岡浄水場の機械設備更新等の大型事業も順調に進んでおりますが、今後においては、建設から相当年数が経過しているレークサイド桜岡等の計画的な改修を強く望むところです。また、公共施設の管理委託料については増加傾向にありますので、経費節減のため施設利用の統廃合等についても検討願います。

町税・国保税・住宅使用料等については、全道的にも高い収納率を維持しており担当課の努力を評価しますが、公平性の観点から収納に向けたさらなる努力を望むものであります。来年の4月からは消費税が8%に値上げされ消費の減退等により地方への影響が心配されますが、本委員会でも出された多くの意見を平成26年度予算編成に反映させるとともに、行政と町民が一体となって知恵を出し合いながら協働のまちづくりを推進し、町民が安心して暮らせる活力のある町となるよう一層の努力を期待し、委員長報告とします。

緊急性に十分配慮し多額な費用を要する 箇所は年次計画で対応するよう望む

- 1.調査日 平成25年8月23日
- 2.調査事項 土木調査について
- 3.調査の所見

今回現地調査の対象となった14件のうち9件を実施可としたところである。

今回の要望箇所については、市街地においては町道関係、また農村部においては主に河川に関する要望が多く近年の異常気象が影響しているものと思われる。

特に、市街地における町道等の補修については、関係課がこまめに巡回を実施し危険箇所は適時に対応すべきである。また、河川に関する事項で私有地が関係している箇所については、町の小規模災害復旧事業補助金や地域で構成されている組織で対応することが望まれる。また、改良区関連施設に関する箇所については、行政との役割分担を十分に踏まえ取り組むべきである。

いずれも協働のまちづくりを基本とし、緊急性に十分配慮し多額な費用を要する箇所は年次計画で対応するなど、限られた予算が最大限の効果になるよう強く望むものである。



東町弥栄川のえぐられた川底を確認



改良区関連施設の排水枡を調査



仲町西2丁目コンクリート蓋の破損状況



西原町13・14線川合流点の堆積土

町民インタビュー

次の4項目についてインタビューしました。

- ① 毎回読んでいますか
- ② 興味を感じる記事は
- ③ 紙面の良い点・改善点
- ④ 今後、どういふ記事のをせて欲しいですか

子どもたち関連の記事に興味があります

西原町 後藤ゆかりさん



- ① 毎回読んでいます。
- ② 活躍するけんぶちこの記事はとてもいいと思います。
- ③ 子どもたち関連の記事がいいと思います。
- ④ 少年団活動関連の記事を続けて欲しいと思います。

教育関係の内容が目にとまります

仲町 芳賀雄太さん



- ① 毎回読んでいます。
- ② 議会の中でも、特に教育関係に目にとまります。
- ③ 町民からの一言を生かしてもらえて良いと思います。
町理事者、議員の皆さんが参加された行事等の一言感想・コメントがあれば良いと思います。
- ④ 剣淵町の将来展望を見据えて、活気ある町づくりに結びつく記事を掲載して欲しい。

一般質問はできるだけ多くの人に

元町 佐藤敦さん



- ① 読んでいます。
- ② 一般質問に興味をもって読んでいます。
できるだけ多くの質問者が出て欲しいと思います。
- ③ 文字もある程度大きいので現状でいいと思います。
- ④ 今回は間に合わないかもしれませんが、今後任期4年間の思いを載せて欲しいです。

地域おこし協力隊員紹介

剣淵町で活動したいこと

絵本の里としての取り組みや農業、特産品、見どころなど、町の魅力を良く知り広く伝えていきたいと思っています。また、絵本の里らしい町のPRの方法なども考えたいと思っています。



角南 友繁 (すなみ ともしげさん)
出身：北海道江利市
興味：絵を描くこと、読書
好きな野菜：じゃがいも

シリーズ 活躍するけんぶちっこ



帯広国体全道予選全道大会

選大会（留萌・上川管内）では、男子個人で優勝、8月に帯広で開催された国体全道予選に出場しました。現在、「剣淵中」の名は全道に知れるほど強くなりました。

剣淵中学校ソフトテニス部躍進の出発点は、6年前旭川での試合に大敗した時から「悔しい、強くなりたいたい」と言う子供たちの強い思いが原動力となっています。外部コーチの協力、町予算でのコート整備、B&Gコートや町バスの借用、そして、コートの除雪や毎週のように組んだ練習試合への送迎など、保護者の方々の全面的な支援や地域の力を結集したからこそ強くなったのだと思います。

中学校からテニスを始めた初心者ばかりのチームでも、みんなの思いがひとつになれば夢は実現できることを私は子ども達や保護者、剣淵の皆様に教えられました。歴代の部員の思い、保護者や地域の皆様の支えが「剣淵」のゼッケンに込められています。今後、更に、剣淵のゼッケンがコートに輝くように、日々の練習を頑張っていきたいと思います。

剣淵中学校ソフトテニス部は今年度、3年生17名・2年生2名・1年生9名の28名で活動してきました。昨年度、中体連上川代表決定戦・男子団体で創部以来初の優勝を果たし、悲願だった全道大会へ出場。今年もその勢いのまま6月の各種大会で上位に入賞、中体連士別大会でも男子団体で優勝、男子個人でも第1位から4位に入賞し、女子個人も1位・2位を独占して上川代表決定戦への出場権を獲得しました。管内大会では優勝した当麻中学校に大接戦の末に惜しくも1対2で敗れ、男子団体3位という結果でしたが見事な試合でした。7月の道北地区国体予

剣淵中学校ソフトテニス部顧問
林 真千子氏 寄稿

要望意見書を提出

一、道州制導入に断固反対する
要望意見書

一、「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための要望意見書

上川管内町村議会 議員研修会

10月30日にロフジールホテル旭川で上川管内町村議会議員研修会が開催されました。

最初に「TPP交渉の現状と国民生活への影響」と題して北海道大学大学院農学研究院農業経済学分野・農業経営学研究室講師・東山寛氏の講演の後、続いて時事通信社特別解説委員の加藤清隆氏による「激動の政治情勢を読む」と題し講演があり、本町からも議員全員が出席し、熱心に聞き入っていました。

今期最後の編集にあたり

任期最後の議会だよりになりました。読んでもらえる紙面づくりにも5人の広報委員が努力をして作りました。読んでくださる方々へ、新しいメンバーになって発行される議会広報もどうぞご愛読戴きますようお願いいたします。

広報委員長 武山啓一
副委員長 生出孝男
委員 肥田照美
委員 高橋一博
委員 卯城規伊

